

聴講無料

石川県・マンスフィールド財団連携セミナー

～マンスフィールド研修生が語るアメリカ情勢～

日 時

第1回 令和5年1月13日（金）17：30～19：00

第2回 1月27日（金）17：30～19：00

会 場

石川県国際交流センター4階大研修室（金沢市本町1－5－3）

主 催

石川県、マンスフィールド財団

共 催

（公社）大学コンソーシアム石川

講師・テーマ

第1回 シャノン・グランビル氏 米国の軍事史教育

第2回 ティン・メイ・チャウ氏 米国の災害対策

※本セミナーは英語での実施となります。

※詳細は裏面をご覧ください

定 員

各回30名（事前申し込みが必要です。）

申込期間

各回開催日1週間前まで

第1回：～1月6日（金）、第2回：～1月20日（金）

申込方法

右下のQRコード又は下記URLからお申込みください。

<https://ws.formzu.net/dist/S9990464/>

＜お問い合わせ＞

石川県観光戦略推進部国際交流課

TEL：076-225-1382/FAX：076-225-1383

E-mail：e200500@pref.ishikawa.lg.jp



第1回 令和5年1月13日（金）



講師 シャノン・グランビル氏 米陸軍戦史研究所 マルチメディア・出版課
上級編集官

略歴

2017年6月より現職。

冷戦史、英国政治、日本政治、政治風刺についての出版を行う。

ウィリアム・アンド・メアリー大学より歴史学で学士号、ロンドン・スクール・オブ・エコノミクより国際関係史で修士号を取得。

講義内容

「リンカーン暗殺スタッフライド：アメリカ史を教えるユニークな教授法」

米陸軍戦史研究所が用いる特別な歴史の教授法—座学と史跡ツアーを組み合わせたスタッフライドを、米国史上衝撃的で今なお影響を残すリンカーン暗殺の例を通して紹介し、この手法が米陸軍の教育にどのように活用されているかを説明します。

第2回 令和5年1月27日（金）



講師 ティン・メイ・チャウ氏 米国国土安全保障省 連邦緊急事態管理庁（FEMA）
連邦保険・被害軽減部 ファンド管理 予算部長

略歴

2019年3月より現職。予算部長として復興事業など年間約55億米ドルの予算を管理し、政府上層部に助言を行う。

中国海南島生まれ、香港、米国に移住。香港中文大学より経済学で学士号、NY市立大学で公共経営の修士号を取得。

講義内容

「防災・危機管理：米国の災害管理と復旧に関する概要及び日本との比較」

近年、地球温暖化などの影響により自然災害の危機は深刻です。

災害や緊急事態管理を行うFEMAの活動を紹介するとともに、日米比較、プエルトリコの復興例を取り上げ、政府省庁間での協働の重要性、世界的な協力の可能性についてお話しします。

モーリーン・アンド・マイク・マンスフィールド財団について

米国の非営利団体。生涯を通じ米国のアジア理解を深め、アジア各国との関係を促進することに力を注いだマイク・マンスフィールド大使とモーリーン・マンスフィールド大使夫人の意志に基づき1983年に設立。ワシントンDC本部の他、モンタナ州ミズウラと東京に事務所がある。財団の基幹事業であるマンスフィールド・フェローシップ・プログラムは、米国連邦政府職員を日本の省庁に毎年派遣し、日本の専門家を育成することを目的として、米国連邦政府によって創設。2022年には26期が派遣され、これまでに約170人の米国政府職員がプログラムに参加。例年、渡日直後の日本語研修を石川県の協力のもと約7週間金沢市で行う。（日本語HP: <https://mansfieldfdn.org/jp/>）